

財務書類の概要（平成30年度）

貸借対照表（様式第1号）

年度末における資産、負債等の状況（ストック情報）を表しています。

借方		貸方	
■資産の部	232億2,169万円	■負債の部	34億1,575万円
1 固定資産	231億6,428万円	1 固定負債	20億7,899万円
有形固定資産	231億6,428万円	地方債	20億6,259万円
土地	116億3,212万円	退職手当引当金	1,640万円
建物	69億1,673万円	2 流動負債	13億3,676万円
工作物	11億7,797万円	翌年度償還予定地方債等	13億1,061万円
建設仮勘定	1,231万円	賞与等引当金	1,393万円
物品	193億5,470万円	預り金	1,223万円
減価償却累計額	△159億2,955万円		
2 流動資産	5,741万円	■純資産の部	198億593万円
現金預金	5,741万円	純資産	198億593万円
資産合計	232億2,169万円	負債・純資産合計	232億2,169万円

有形固定資産減価償却率は58.0%
施設全体として老朽化しつつあります。

行政コスト計算書（様式第2号）

行政サービスにかかった費用とその行政サービスの財源を表しています。

■経常行政コスト	30億9,872万円
1 人にかかるコスト	1億7,888万円
職員の給与等	1億5,922万円
退職手当引当金繰入額	112万円
賞与等引当金繰入額	1,393万円
2 物にかかるコスト	28億5,342万円
物件費	10億7,724万円
維持管理費	4億1,577万円
減価償却費	13億5,673万円
3 移転支的コスト	115万円
負担金等	115万円
4 その他のコスト	6,528万円
支払利息	6,528万円
■経常収益	7億4,001万円
使用料・手数料	2億9,227万円
その他収入	4億4,773万円
■（差引）純経常行政コスト	23億5,871万円
臨時損益	△3,217万円
■純行政コスト	23億9,088万円

資金収支計算書（様式第4号）

資金の出入りの情報をその性質に区分して表しています。

■前年度末歳計現金残高	3,365万円
■本年度歳計現金増減額	1,153万円
1 業務活動収支	17億533万円
支出合計	17億7,046万円
収入合計	34億7,579万円
2 投資活動収支	△1億3,303万円
支出合計	1億3,664万円
収入合計	360万円
3 財務活動収支	△15億6,077万円
支出合計	16億5,877万円
収入合計	9,800万円
■本年度末歳計現金残高	4,518万円
■本年度末歳計外現金残高	1,223万円
■本年度末現金預金残高	5,741万円

【純資産比率】 85.3%
(計算式) 純資産 ÷ 資産合計 × 100
【将来世代負担比率】 14.6%
(計算式) 地方債 ÷ 有形固定資産 × 100

住民1人あたりの指標
※住民人口は岸和田市人口と貝塚市人口の合計とします。
281,565人 = 194,952人 + 86,613人
貸借対照表
資産 82,474円
 有形固定資産 82,270円
負債 12,131円
純資産 70,342円
純行政コスト 8,491円

純資産変動計算書（様式第3号）

1年間で純資産がどのように変動したかを表しています。

■前年度末純資産残高	194億5,743万円
■本年度変動額	3億4,851万円
純行政コスト	△23億9,088万円
税金等（分担金）	27億3,939万円
■本年度末純資産残高	198億593万円

※表中金額については、表示単位未満を四捨五入のため、合計と合わない場合があります。